

原寸大の愛。

たっぷりの愛を注いで、ひとつひとつを慈しみ、丹精込めて育てます。
だから伊達町のくだものは、すくすくと、元気に…。やがて季節が訪れ、
甘い香りをふりまきながら、しっかりと色づいて。
誇らしいまでに堂々と、そして美しく実った姿は、郷土のやさしさの賜物。
どこまでも瑞々しく、深い味わいは、やはり育てた人の愛情の証。
こうして、人とふるさとの愛を、その小さなからだ満身に授かった“子供たち”。
伊達町の大地から、全国へと旅立ってゆくのです。